



ハイライトよねやま145

1 寄付金速報 — 2011-12年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べて1.4%減、約1,600万円減少の10億8,700万円となりました。普通寄付金が1.4%減、特別寄付金も1.4%減です。3月単月だけで前年と比較すると約940万円増加しています。

今年度は、普通寄付金のご送金が例年よりも遅れており、3月末時点で、全クラブの89%にあたる2,045クラブからしかご納入いただいていません（前年度は93%の2,144クラブ）。普通寄付金の下期分をまだご送金いただいていないクラブは133クラブ、上期・下期ともに未送金のクラブは115クラブとなっています。今年度も残り3カ月を切りました。なるべくお早めにご送金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 ホームカミング学友が各地区大会に登場！

今年度は、米山学友12人がホームカミング制度（元米山奨学生の里帰り制度）によって各地区へ招へいされ、地区大会などで活躍を披露しました。4月前半に行われた地区大会に招待された2人の学友を紹介します。

第2820地区（茨城県）

2012年4月7-8日、国際ロータリー第2820地区大会が、結城市内で開催されました。1日目の会長・幹事会で、韓国からホームカミング制度で招へいされた柳京子さん（1981-83/北茨城RC/ニューソウルRC会員）が登場。冒頭で、東日本大震災の犠牲者へ黙祷を捧げた後、柳さんが会長を務める韓国米山学友会の活動紹介や、ロータリアンになった動機について語りました。また、柳さんは、この前日に北茨城RCの案内で県内被災地を訪れ、義援金としてクラブへ10万円の寄付をしました。同クラブ会長の野口忠正氏は「30年も前の奨学生からこのような気持ちをいただいて本当に嬉しい。大切に使用したい」と、喜びのコメントを寄せてくれました。

第2740地区（長崎県・佐賀県）

2012年4月6-7日、国際ロータリー第2740地区大会が、長崎市内で開催されました。大会本会議のオープニングには、ホームカミング制度で招へいされた歌手のJisongさん（韓国/2007-08/大和RC）が、「アヴェマリア」「Time to Say Goodbye」の2曲を透明感のあるソプラノで披露。その後、本会議の並行プログラム「Jisongさんと米山記念奨学生の集い」では、集まった奨学生やロータリアンに向けて、米山奨学生となって得たものは「すばらしい人間関係」であることなどを、自身の経験を振り返りながら語ってくれました。



第2820地区大会の会長・幹事会で話す柳さん



第2740地区大会で歌声を披露するJisongさん

3

公益財団法人移行後、初の評議員会開催

公益財団法人に移行してから最初の評議員会（2011年度第1回）が3月29日（木）、メルパルク東京（東京都港区）にて開催されました。全国から28人の評議員が出席し、常務理事および監事9人のほか、公益財団法人移行により任期終了となった特例民法法人最後の評議員8人が列席。互選によって、議長には川野正久評議員（第2590地区PDG）が選出されました。

新しい法人では定時評議員会を年1回開始し、財務諸表について評議員会の承認を得なければなりません。今回、1月3日までの特例民法法人としての決算は原案通りに承認されました。これにより主務官庁であった文部科学省に最後の決算報告を行い、これからは内閣府による必要最低限の監督を受けることになります。

また、議事終了後の意見交換では、在日留学生数の少ないアジア諸国に対する配慮など、今後の募集・選考のあり方について熱い討議が行われました。



4

米山学友が母国で受賞 — ネパール出身のタパさん —



米山学友のジギャン・クマル・タパさん（ネパール／2008-09／横浜たまRC）が、日本におけるネパールの認知度およびイメージ向上に寄与した功績が評価され、NATTA（ネパール観光協会）から Bhaskar Award（輝かしい賞）を受賞しました。1月6日の受賞式では、ビスタ観光大臣から銅板に刻まれた表彰状を授与され、翌日にはヤダブ大統領に謁見しました。

タパさんは、受賞の喜びをお世話になった人々と分かち合いたいと、3月20日、同じく米山学友の妻、エソダ・バスネットさん（2011-12／横浜戸塚RC）とともに、「感謝の会」を開催。駐日ネパール大使夫妻のほか、タパさん・エソダさんの世話クラブ会員、第2590地区米山奨学委員長の倉知恒久氏など、夫妻に縁のある113人がお祝いにつけました。

タパさんは、2000年に来日して以来、多くの人々に支えられてきたことへの感謝を述べ、今後もさらに邁進していきたいと、決意を新たにしました。また、今回の受賞にふさわしく、自らガイドに扮してネパールを案内するバーチャル旅行を演出するなど、母国のPRも忘れませんでした。一方、エソダさんは「彼と結婚する際、“僕にはお世話になった日本の友人がたくさんいる。妻になったら、君も僕の友人を大切にしたい”と言われた。その時は、日本語だったこともあり、よくわからなかった（笑）。でも、今は、その言葉の本当の意味がわかります」と、大きな瞳を輝かせて語り、可憐な踊りを披露しました。



★ 米山ナイトはご好評につき締め切りしました ★

当初、申込み締切を4月16日としていましたが、予想を超えるお申込みをいただいたため、3月27日をもって締め切りとさせていただきます。多数のお申込みありがとうございました。